

つどいの場づくりを 応援します



協議体では、世代を問わずに地域のみなさんがつながりを深め、困ったときには支えあえる地域づくりを進めるために「つどいの場づくり」を行っています。

「つどいの場を立ち上げたい」「世代間交流をしたい」など、つどいの場に関するお問い合わせは下記の横手市社会福祉協議会又は最寄りの福祉センターまでお寄せください。

協議体メンバーがアイデアや情報を出し合いながらお手伝いいたします。また、「交流したい人」と「つどいの場」をつなぐ取り組みも行っていますので、お気軽にご連絡ください。



●つどいの場を応援するこんな補助金などがあります

補助金・助成金	内容
町内会等活動補助金 (横手市)	町内会や自治会、集落等で、規約や役員、予算等を定めて活動している団体を対象に、健康増進や世代間交流等の取り組みに対し、世帯数に応じて補助金を交付します。 〈例：30世帯の場合 24,000円が補助金の上限〉 ◆連絡先：横手市役所 地域づくり支援課 (☎35-2266)
通所型サービスB補助金 (横手市)	住民主体による要支援者等を中心とする自主的なつどいの場で、健康づくりなどを目的として月2回、1回2時間以上開催する団体に対し、1月あたり7,500円を上限に補助金を交付します。 ◆連絡先：横手市役所 高齢ふれあい課 (☎35-2134)
いきいきサロン助成金 (横手市社会福祉協議会)	世代を問わず、住民同士の交流を深めながら健康づくりなどを行うサロン（つどいの場）の立ち上げや運営支援を行います。また、年6回以上開催するサロンへ60,000円を上限とした補助金の交付などを行います。 ◆連絡先：横手市社会福祉協議会 地域福祉課 (☎36-5377)

お住まいの地域の人材や会場、活用できる事業などを把握し、地域ならではの楽しいつどいの場づくりを一緒に考えていきましょう。



…………… 問い合わせ等連絡先 ……………

横手市役所 市民福祉部 高齢ふれあい課 ☎35-2134
社会福祉法人 横手市社会福祉協議会 本部 地域福祉課 ☎36-5377

お願いします：見守りや生活支援などの身近な「支えあい」や自身が楽しく参加している「つどいの場」についてもぜひ情報をお寄せください。

みんなで支えあえる地域をめざして



支えあおう

第5号

令和4年
3月発行

生活支援体制整備事業通信

住み慣れた地域で、元気にいきいきと暮らし続けられるように、生活支援コーディネーターや協議体を中心となり、支えあいや社会参加の充実した地域づくりを進めています。

世代間交流で みんながつながる地域



おはよう。
いってらっしゃい。

子どもの声を聞くと
元気になる気がするねえ。

まめ子さん



おばちゃん、おはよう。

行ってきます。



それは気のせいではないんじゃ。

子どもとの交流は実際に高齢者を元気にすると
言われているんじゃ。

まめでら博士

子どもと高齢者の交流にはたくさんの『良いこと』があります♪

子どもにとっての良いこと 例

▶ 礼儀や作法などを学ぶ

礼儀や言葉の豊富さが自然と身につくほか、思いやりの心が育まれます。

▶ 地域や過去の歴史の生きた知識を知る

自分の住む地域のことや昔の出来ごとなど、体験を交えたお話を聞くことで理解が深まり知識が増えます。



高齢者にとっての良いこと 例

▶ 生活に張りが生まれる

活力みなぎる子どもたちとの交流は普段の生活にも張りを与えてくれます。また、違う世代とのおしゃべりは心も若返ります。

▶ 役割ができる

地域の中で役割を持つことは、生きがい・健康づくりにとても良いと言われています。自身の経験や昔の遊びなどを伝えることは立派な役割になります。





地域や学校などでは様々な工夫をしながら世代間交流が行われているんじゃ。



とっても楽しそう！私も参加したいわ。

地域で行われている世代間交流の一部をご紹介します

1 サツマイモ掘り

横手地域

金沢地区では、環境保全隊のみなさんや地域の方々、金沢保育園の園児がつどい、サツマイモ植えや収穫をとおした交流を行っています。



サツマイモ掘り

収穫の際には大きなサツマイモに歓声があり、イモの大きさ比べなどをしながら楽しい時間を過ごしました。また、福祉協力員のみなさんにより、お一人暮らし高齢者の方々にすすそわけしました。



サツマイモをおすすそわけ

2 クリスマスリースづくり

大森地域

松田いきいきサロンでは、地域のみなさんが集まりやすいように、休日の午後で開催し、子どもから祖父母まで3世代がつどい、交流を深めています。



クリスマスリースづくり

クリスマスリースづくりなど、毎回様々な制作活動を行うことで会話も盛り上がり、地区内の団結力が高まったとの声もありました。また、作品は自宅に持ち帰り飾ることで、家族同士の会話も増えたとのこと。



完成したクリスマスリース

3 グラウンドゴルフ交流

市立旭小学校

旭小学校では、コロナ禍でも世代間交流ができるように、換気の必要がない屋外で老人クラブ会員のみなさんに教えていただきながらグラウンドゴルフを行いました。



プレーの様子



グラウンドの外でもおしゃべり

「おばあちゃんすごい！」「いいぞ！」など、応援や声掛けをしながらプレーを楽しみ、会員からは「久しぶりに子どもと話ができてうれしかった」との感想も寄せられました。

4 ミニかまくらづくり

県立横手高校定時制課程青雲館

横手高校定時制課程青雲館では、コロナ禍でもお年寄りと交流できる方法を考え、高齢者福祉施設のご利用者さんへ生徒が手紙を書き、お届けしました。



生徒の想いがつまったお手紙



ミニかまくらづくり



また、ご利用者さんに幻想的な雰囲気を楽しんでいただきたいと、施設にミニかまくらをつくりました。



少子化や核家族化、部活やクラブ活動の充実など、社会の変化と共に世代間交流が少なくなったとの声が多くなっています。

同じ地域に住む者同士、お互い気軽に声を掛け合い支えあえる関係を築いていくためにも、交流の機会には「多世代」での開催を検討してみてもいいでしょうか。

